

第18回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウム（第1回日本太陽光発電学会学術講演会）開催と一般講演募集のお知らせ

本シンポジウムは、国内の太陽光発電にかかわる研究者や技術者が一堂に会し、分野の垣根なく議論する場として、平成16年の第1回から毎年1回開催され、今回が第18回となります。本シンポジウムは、平成16年に発足した日本学術振興会産学協力研究委員会「次世代の太陽光発電システム第175委員会」の主催で開催されてきましたが、同委員会を継承し、昨年10月に発足した日本太陽光発電学会の主催で開催されることとなり、今回は第1回日本太陽光発電学会学術講演会と併記することになりました。

国内の太陽光発電産業は、新興国メーカーのシェア拡大や、固定価格買取制度の見直しなどで、厳しい状況にあります。一方、地球環境の維持、人類の存続のために、脱炭素社会の実現が世界的に避けては通れない課題となり、国内においても、2050年にカーボンニュートラルの実現を目指すことが宣言されました。これらの地球規模の課題解決のために、太陽光発電は必要不可欠な技術であり、未来に向けて、持続的な研究開発や、イノベーションによる一層の発電コストの低減が求められます。さらには、ルーフトップやメガソーラーでの使用に留まらない高い付加価値を創出することなど、取り組むべき多くの課題があります。

今回のシンポジウムでも魅力ある基調講演を含む招待講演、最先端の特定テーマを扱う特別セッション、学生や若手研究者・技術者に向けたチュートリアル講演を予定しております。なお、今回は、新型コロナウイルス感染のリスクを抑えるため、ポスターセッションは実施せず、一般投稿はすべて会期2日目にパラレルセッションでの口頭講演と致します。また、今後の感染状況によっては全プログラムをオンライン開催とする可能性がございますことを御理解頂ければと存じます。

多くの皆様からの御投稿、御参加を心よりお待ち申し上げております。

日本太陽光発電学会 会長 宇佐美 徳隆
第18回シンポジウム実行委員長 増田 淳

第18回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウム（第1回日本太陽光発電学会学術講演会）の概要

主催：日本太陽光発電学会

後援：新潟県

協賛：公益社団法人応用物理学会 応用電子物性分科会

公益社団法人応用物理学会 多元系化合物・太陽電池研究会

公益社団法人応用物理学会 北陸・信越支部

一般社団法人日本太陽エネルギー学会

会期：2021年10月14日（木）～15日（金）

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

住所：〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号 電話 025-246-8400

（JR新潟駅から路線バス約15分）

【募集する一般講演の内容】

- (1) シリコン系、化合物薄膜、超高効率・集光形、色素増感・有機薄膜、ペロブスカイト、第3世代等の各種太陽電池セル・モジュールの材料・作製プロセス・評価技術・信頼性等に関するあらゆる内容
- (2) 新規用途開拓 (BIPV、車載、ソーラーシェアリング、軽量、水上、衛星応用、IoT応用、光無線給電応用)、宇宙太陽光発電、O&M、リサイクル、ライフサイクルアセスメント、Solar to X等と関連技術
- (3) 太陽光発電システム (系統連系技術、フィールド試験、大規模発電)、パワーコンディショナ、蓄電システム、エネルギーマネージメント、バーチャルパワープラント、デマンドレスポンス、アグリゲータ等と関連技術
- (4) 国や地方自治体のエネルギー政策、導入普及と地域連携、電力市場等

【一般講演投稿締切】

2021年8月2日（月）17時

【参加費】

事前申込（8月27日まで）

日本太陽光発電学会員 10,000円、非会員 20,000円、学生 3,000円

8月28日以降

日本太陽光発電学会員 20,000円、非会員 30,000円、学生 5,000円

【振込先】

三井住友銀行 (0009) 本山支店 モトヤマシテン (484)

普通預金 口座番号 : 6955441

日本太陽光発電学会 ニホンタイヨウコウハツデンガツカイ

※振込手数料は、参加者様のご負担でお願いいたします。

【実行委員会】

実行委員長 増田 淳 (新潟大学、日本太陽光発電学会 研究会・教育担当副会長)

実行委員 稲葉 道彦 (東芝)、大平 圭介 (北陸先端科学技術大学院大学)、櫛屋 勝巳 (出光興産)、中島 昭彦 (カネカ)、若宮 淳志 (京都大学) (五十音順)

現地実行委員長 片桐 裕則 (三条市立大学)

現地実行委員 荒木 秀明 (長岡工業高等専門学校)、加藤 景三 (新潟大学)、島宗 洋介 (長岡工業高等専門学校)、城内 紗千子 (新潟大学)、新保 一成 (新潟大学)、竹内 麻希子 (長岡工業高等専門学校)、田中 久仁彦 (長岡技術科学大学)、坪井 望 (新潟大学)、馬場 晓 (新潟大学)、増田 淳 (新潟大学)、山田 昇 (長岡技術科学大学)、吉井 明人 (ナックス) (五十音順)

プログラム委員 伊藤 雅一 (福井大学)、稲葉 道彦 (東芝)、植田 譲 (東京理科大学)、宇佐美 徳隆 (名古屋大学)、大下 祥雄 (豊田工业大学)、大関 崇 (産業技術総合研究所)、大平 圭介 (北陸先端科学技術大学院大学)、貝塚 泉 (資源総合システム)、上川 由紀子 (産業技術総合研究所)、櫛屋 勝巳 (出光興産)、小林 広武 (電力中央研究所)、櫻井 岳暁 (筑波大学)、瀬川 浩司 (東京大学)、飛田 博美 (電気安全環境研究所)、中島 昭彦 (カネカ)、別所 豊隆 (東京大学)、増田 淳 (新潟大学)、山田 明 (東京工业大学)、若尾 真治 (早稲田大学)、若宮 淳志 (京都大学) (五十音順)